

# 2021年度 高大接続推進事業 活動報告

活動名 : 「自然史研究リーダー養成によるフィールド研究志向高校生のリクルート」

日時 : 令和3年11月13日(土)

【実習】9:30~12:30

【昼食・まとめ】12:30~14:30

【移動(徒歩)】14:30~15:00

場所 : 【実習】屋島周辺(長崎の鼻~北嶺)

【昼食・まとめ】屋島北嶺千間堂広場

講師 : 【地形・地質班】寺林 優(博物館長・創造工学部教授) …生徒 9, 教員2, TA2

【昆虫班】伊藤文紀(博物館副館長・農学部教授) …生徒 9, 教員1, TA4

【樹木班】小宅由似(創造工学部助教) …生徒 6, 教員2, TA2

【草本班】篠原 渉(博物館副館長・教育学部准教授) …生徒 6, 教員1, TA2

内容 : 【地形・地質班】露頭で岩石を観察し、走向傾斜の測定方法、地質と地形の関係を学ぶ。

【昆虫班】アリ類を採集し、アリの同定(名前調べ)方法、アリ相の特徴を学ぶ。

【樹木班】樹木や森林を観察し、樹木の見分け方、森林の階層構造や植生の特徴を学ぶ。

【草本班】草本を観察し、見分け方、地質や地形および地理的分布の特徴を学ぶ。

参加校 : 高松東高等学校 生徒13名, 教員 2名

香川大学 16名

高松商業高等学校 生徒 4名, 教員 1名

教員 4名(農1, 創造工2, 教育1)

高松第一高等学校 生徒 1名, 教員 1名

ティーチングアシスタント 10名

香川中央高等学校 生徒 3名, 教員 1名

(農4, 創造工4, 教育2)

丸亀高等学校 生徒 9名, 教員 1名

博物館職員 2名

計5校 生徒30名, 教員 6名 計36名

合計 52名

服装・持参物 : 活動しやすい服装(長袖, 長ズボン)、活動しやすい靴、軍手、帽子、タオル、

筆記用具、昼食、飲み物、雨具(もしくは折畳傘)、マスク着用のこと



実習内容について寺林講師から説明



地形・地質についての説明



たまねぎ状風化



計測に必要な用具の説明



山中式土壤硬度計の操作



クリノメーターで傾斜の測定



GPSで現在地を確認



地形のなりたちについての説明



実習内容について伊藤講師から説明



山上付近でアリを採集中



アリを採集中



アリを採集中



アリの同定作業



指導を通しての大学生との交流



採集したアリ





実習内容について小宅講師から説明



調査プロット内の対象樹種をカウントする



実習を通して他校生徒との交流



目盛検測竿での樹高測定



まとめ・発表



実習内容について篠原講師から説明



標本採取の仕方についての説明



植物の観察



植物の説明



植物の説明



採集した植物



採集した植物



採集した標本の同定とまとめ

## 地形・地質班

- ・普段触ることのない自然や、地質の知識というのが、とても新鮮に感じ、常に楽しかったです。クリノメーターの使い方等、本当に丁寧な指導をして頂いた事には、心から感謝しています。本当に素晴らしい先生と生徒の方々でした。屋島の豊かな自然を味わったのは、小学校で来た時以来でしたがあの時と変わらず美しかったです。来年も、もしコロナがひどくなくなければ、訪れたいものです。
- ・その土壌が何地質でできているのか、見分けることは、とても難しいと思った。屋島といっても、花崗岩質の地層と玄武岩質の地質がまざっている所や、凝灰角れき岩など、様々な地質で構成されていることがわかった。
- ・学校ではまだ学習していませんが、近ごろ予習で学習した「たまねぎ状風化」を見られてうれしかったです。クリノメーターの使い方が想像していたより難しかったです。正しい方法で使用できてよかったです。今後にも生かせるとてもよい経験になりました。

## 昆虫班

- ・腐った木や石の下などにアリなどが生息していることを知らなかったのが、今回のフィールドワークで新しい発見ができて良かった。
- ・蟻に関する採取や、調査などをして見ると、自分にも知らないようなことがあってもっと蟻を調べたくなりました。
- ・このように実際に採集、種の特定制をしたのは初めてだったのでとても新鮮な体験だった。また、同じアリでも種によって大きな違いがあるかと思えば、ルーペでは判別できないほどの小さな差だけだったので非常に興味深かった。

## 樹木班

- ・とても楽しい時間をありがとうございました。普段は入ることのない木々の中を、たくさん見ることができて良かったです。また、実際に調査をしてみて、今までまったく知らなかった木の世界にふれることができ、非常に良い経験になりました。また機会がありましたら、ぜひ参加したいと思います。
- ・山で行うフィールドワークで注意すること。イノシシなどの野生動物やうるしにかんすること。などを学べたことや樹木のフィールドワークの仕方などを知ることが出来て良かったと思いました。
- ・実際に触れながら、分類していくのが楽しかった。

## 草本班

- ・初め、このイベントを見てみてとてもおもしろそうだったけど、想像以上によい経験ができてよかったです。
- ・実際にふれあって活動するので、とても印象に残りやすく楽しかったです。
- ・新しい仲間もできてとても充実した一日になった。これから山中に入るときは周りの植物にも気を配ってみたい。ありがとうございました。

## 地形・地質班

- ・休けいが途中多くあったのでのぼりやすかったです。  
長崎の鼻は寒かったですが、島のこと、花崗岩のこと、風化のこと、多くの地学的なことが分かりとても良かったです。
- ・器具の使い方や、いろいろなポイントでの観測があり、生徒にとって学びの多い実習であったと思います。昨年参加した生徒もいましたが、去年とは、異なる地点での観測などもあり、新たな発見へとつながっており、継続して参加できたこともよかったです。コロナの中で、いろいろ制限もあり、準備なども大変だったと思います。毎年このフィールドワークを生徒とともに楽しみにしております。ありがとうございます。

## 昆虫班

- ・多くの種をみる事ができて楽しかったです。次は生徒もつれてきたいです。

## 樹木班

- ・実際に歩いて自分達で調査、計測し、そこから得られたことで何が言えるのかという理系の学問特性を生徒が体験できたことが良かったと思った。今回全員理系の生徒を連れてきたが、そのことが今後にかされたら良いと思った。とても有意義な時間でした。

## 草本班

- ・天気が良くてよかったです。同行している学生さんが一緒に研究されている方ではなかった?ので残念。もう少し話を聞きたかったです。
- ・一つ一つていねいに説明していただいたので、高校生にも非常にわかりやすかったと思います。今回は、人数が少な目だったので、よりきめ細やかな指導をうけられ、また、生徒の活動する場面も多くよかったです。

(原文のまま)

## 新型コロナウイルス感染防止について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から国が示す「3つの密」を回避する対策や

「新しい生活様式」における感染防止の3つの基本を徹底して実施

屋内(れいがん茶屋もしくは屋島少年自然の家)で実施していたまとめと発表を屋外で実施

- ・香川県から令和2年9月15日に発出された「催物(イベント等)の開催にあたっての留意事項について」に記載されている事項に留意して実施
- ・公益社団法人日本環境フォーラム、NPO法人自然体験活動推進協議会、一般社団法人日本アウトドアネットワークの3団体が作成した「自然体験活動・自然教育・野外教育・環境教育を実施している事業体における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に準じて実施
- ・各校から現地間は、小型バスに相乗りして移動するが「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」では、換気性能をもとに、航空機、列車などと同様に座席の利用に関する制限は設けられていない。バス会社が新型コロナウイルス予防対策ガイドラインを作成していることを確認。バス会社独自で換気能力実証実験を実施(ただし大型バスのみ)独自に座席背もたれに飛沫防止シートを設置

